

# 平成23年度 学校自己評価表

( 計画段階 ・ 実施段階 )

福岡県立三井高等学校長

学校番号

62

その1

学校運営方針		学校運営計画			評価	
<p>○人権尊重の精神を基とし、道徳性、自主性、創造性に富む豊かな人間性を育むとともに、社会の変化に主体的に対応できる能力を培い、平和的・民主的な社会の一員として貢献できる人間を育成する。</p>						
<p><b>昨年度の成果と課題</b></p> <p>○キャリア教育に関しては様々な取り組みがなされ一定の成果がみられる。 ○学習意欲の向上と基礎・基本の定着が課題である。また、規範意識の高揚が必要である。 ○修学支援の取組は今後とも充実を図る必要がある。 ○今年度の定員割れの現状を打開するために学区内の生徒数減少を見据えた取組の強化が課題である。</p>		<p><b>本年度重点目標</b></p> <p>(1) 希望進路実現のため、学習意欲を高め、基礎・基本の定着と学力の向上を図るとともに、一人一人の個性や能力を伸ばす教育を充実させる。 (2) 生徒が自信と誇りを持ち、目標に向かって生き生きと活動できる学校づくりに努め、道徳教育を推進する。 (3) 生徒の生活背景の共有を基盤に、課題解決に向けた積極的な教育活動を充実させる。 (4) 地域や保護者に信頼され支援される学校づくりに努める。</p>		<p><b>具体的目標</b></p> <p>○習熟度・少人数授業等授業の工夫改善を推進する。 ○授業に集中する態度・自学自習の習慣を身に付けさせる。 ○キャリア教育の充実と進路意識の高揚、課外授業充実、求人開拓等の推進を図る。 ○基本的生活習慣を確立し、積極的な生徒指導を充実する。 ○生徒会等自主的活動の活性化を図り、また、心の教育を充実する。 ○行事や体験活動等を通じて、自尊感情を高める。 ○保健安全指導の充実と環境美化意識の高揚を図る。 ○修学支援推進委員会を活性化し、組織的・機動的な対応の充実を図る。 ○家庭訪問等の充実による生活実態のきめ細かな把握と保護者との連携を図る。 ○PTA・同窓会・近隣地域等との連携強化と地域に開かれた学校づくりに推進する。 ○全職員による日常的教育活動の推進と教職員研修の充実を図る。</p>		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度の主な課題		
教科指導	授業の充実	<p>選択の趣旨を生かし、特色ある授業を実践する。 言語活動の充実等、授業改善のための形態・内容の検討を進め取組を実施する。 教科担当と学年団・生徒指導部との連携を強化し、授業規律を徹底させる。 成績不振や出席不良の生徒について実態と課題を把握し個別の対策を立てる。 家庭学習につながる授業・考査・課題のあり方を検討し取組を実施する。 自学できる環境作りに努める</p>				
	学力の向上					
生徒指導	基本的生活習慣の徹底	<p>挨拶励行・時間厳守(積極的声かけ、授業前後の挨拶徹底、日常の内観指導)をさせる。 各分掌と連携を図り、生徒の実態把握に努め、個人面談等による内観指導、全校集会、各学年集会時の指導に生かす。 毎月1回の頭髪服装検査、事後指導の徹底をする。</p>				
	生徒会活動・部活動の充実	<p>各専門委員会の活性化を目指し、月努力目標の具現化、周知徹底を図る。 生徒会主体での各行事で主体的に参加し、達成感を味わえるよう指導する。 文武両道を主に、将来社会に貢献できる人間性の育成を図る。</p>				
進路指導	キャリア教育の充実	<p>学年との連携を強め、学年を主体とした進路行事、総合的な学習の時間の推進をはかる。 進路ガイダンス、進路説明会、進路講演会・相談会、進路見学会を充実する。 保護者、上級学校、就職企業との連携の充実を図る。 企業訪問、新規企業開拓活動の充実を図る。</p>				
	就職・進学指導の充実	<p>進学課外、公務員課外、看護系課外、SPIテスト等で学力の向上を図る。 模擬面接、マナー講座等により面接指導の充実を図る。 中学校訪問を積極的に展開し、入学志願者の増大につなげる。</p>				
企画広報	広報活動の充実	<p>学校のホームページを、随時更新して広報活動に役立てる。 保護者向けに、学校の活動の様子をより積極的に発信し、PTA活動の活性化を図る。 三井高発表会ではコースの特色を生かした発表内容をより充実させる。 各コース・学年など関係部署との連携をさらに強化する 多くの中学生に観覧してもらい、新入生募集につながるよう広報に努める。</p>				
	三井高発表会の充実					
図書研修	図書教育推進	<p>各教科等、総合的な学習の時間、「朝読書」等を通して、読書活動の推進を図る。 適切な視聴覚教材の導入・活用を推進する。 図書・報道委員の活動の充実と活性化を図る。 本校が抱える諸課題の解決に資するような研修を実施する。</p>				
	研修の充実	<p>人権・同和教育推進委員会と連携して、人権・同和教育研修を開催する。 各個人の研修を奨励し、それを取りまとめた研究紀要を発行する。 健康診断関係等については、円滑な運営になるように全職員で指導を行う。</p>				
保健安全 環境美化	健康管理	<p>性と心の健康相談を実施するとともに、日常的に生徒の相談できる体制を作る。 様々な方法で生徒の県高に関する情報を集め健康管理に活用する。 美化コンクールの目的等を理解させるとともに美化意識の高揚に努める。 各クラスの美化委員を中心に、清掃の徹底や身の回りの整理整頓を指導させる。 美化コンクールの実施回数を増やし、そのことを通じて美化意識を高める。 修学支援推進委員会の機能化・機動化を図り、中途退学防止に努める。</p>				
	校内美化	<p>中高連絡会を開催し、中学校との連携を通じて修学支援を推進する。 高校授業料の無償化に伴う新たな支援策を確立する。 生活アンケートを実施し、生徒の実情に関する、教職員の共通理解を図る。 人権・同和教育特設授業を通じて、生徒が自身の課題と向き合うようにする。 個別に課題を持つ生徒のかかわりをより深めていくように努める。</p>				
人権・同和教育	修学支援の推進					
	生徒の自尊感情の向上					
事務部	教育環境整備	<p>第1棟改築工事に伴う円滑な移転および施設の安全点検の徹底。 適切な財産管理業務を推進する。</p>				
	省エネルギーの推進	<p>冷暖房温度の適切な管理により光熱水費等の縮減を図る。</p>				